

令和4年度

試験名： 推薦入試

【社会・国際学群社会学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
小論文	<p>問題文は、身体の性と性自認が異なる経済産業省職員が、同省によるトイレ使用制限を差別であるとして国を訴えた訴訟の控訴審判決(東京高等裁判所)に関する記事(村上友里. 性同一性障害のトイレ使用制限、高裁「違法ではない」. 朝日新聞. 2021-5-27, 朝日新聞デジタル, <a href="https://www.asahi.com/articles/ASP5W5228P5TUTIL04B.html">https://www.asahi.com/articles/ASP5W5228P5TUTIL04B.html</a> (参照 2021-10-9).)からの出題である。</p> <p>問1は、同省の対応を違法ではないとした東京高等裁判所の判断に対する意見を自由に述べさせた。自己の性自認に基づき社会生活を送るという法律上保護された利益を有する個人と、他者が持つ性的不安等を考慮して全ての職員にとって適切な職場環境をつくる責任のある同省という、対立する2つの立場を考慮した上で論じさせることにより、今日の社会において生じているさまざまな課題の解決を図るために求められるバランス感覚や論理的思考能力を問うた。</p> <p>問2は、身体の性によって区別することが必要な制度や仕組み(トイレの使用を除く)の有無と、その理由を具体例を挙げつつ自由に述べさせることにより、論理的思考能力だけでなく、社会科学を学ぶ上で求められる課題発見力や発想力等を問うた。</p> <p>なお、いずれの問も、専門的な知識を要求するものではない。</p>